

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度 6 月 補正 予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 【新】障がい者福祉関係施設等整備補助金（総合緊急対策分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内2618)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,836 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,836	0	0	0	0	0	0	0	8,836
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・コロナ禍における原油価格や物価高騰を要因とした、建設費の高騰により、社会福祉施設の建設においても、既存補助制度を利用した新施設の創設や、施設改修といった事業の実施が困難となっている。
- ・障がい者（児）支援の充実を図るため、新たな補助制度により助成することにより、障がい福祉施設整備の後押しをする必要がある。

(2) 事業内容

- ・令和 4 年度障がい者福祉関係施設等整備補助金の補助対象施設に対する
上乗せ補助 *建設物価建築費指数上昇分(0.062)の 1/2

(3) 県負担・補助率の考え方

補助金の算定方法

建築費高騰相当額（補助金協議額×0.062）×1/2

県補助率 1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,836	施設整備補助金の上乗せ補助金
合計	8,836	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

IV 障がい者の地域生活支援

◆地域で自立するための生活の場の整備

- ・グループホーム等の生活の場や日中活動の場を確保するため施設整備への一部助成や難病患者就労支援員の設置

岐阜県障がい者総合支援プラン

第4章 分類別施策

III 日常生活を支える福祉の充実

1 障がい者の地域生活支援

(1) 親亡き後の住まいの場の確保と地域生活移行支援

①訪問系・日中活動系サービス等の充実

②生活の場の確保・充実

第5章 第6期障害福祉計画

3 障害福祉サービス等の見込量と確保策等

第6章 第2期障害児福祉計画

3 障害児通所支援等の見込量と確保策等

サービス見込量を定めるとともに、その確保及び質の向上に関する方策を定めた。

(2) 国・他県の状況

国：原油価格・物価高騰対策事業を補正予算で対応

近県：愛知県 特段の対応無し

三重県 特段の対応無し

(3) 後年度の財政負担

国により補助単価に材料費高騰分が上乗せされるまでの間は、県単にて事業者支援を続ける必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

国の対応待ちで実施する事業であるため、県が主体として妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	障がい者福祉関係施設等整備補助金（総合緊急対策分）
補助事業者（団体）	社会福祉法人等 （理由） 国庫補助金の対象者
補助事業の概要	（目的） 施設整備事業の円滑な推進 （内容） 材料費高騰分相当の1/2を補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） 国交付決定額に対し高騰率を乗じた金額の1/2 （理由） 材料費高騰による影響について、県と事業者で負担することとするため
補助効果	自己資金不足で事業実施不能となることを回避
終期の設定	終期令和8年度 （理由）

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
国交付決定を受けた事業が、自己資金不足で事業実施不能となることがないこと

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 事業取下げ件数	1			0	0	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
